

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)

【公開番号】特開 2000-220093 (P2000-220093A)

【公開日】平成 12 年 8 月 8 日 (2000.8.8)

【出願番号】特願 平 11-51279

【国際特許分類第 7 版】

D 2 1 H 19/20

C 0 9 K 3/18

【F I】

D 2 1 H 19/20 A

C 0 9 K 3/18 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 20 日 (2004.7.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記重合体 (A)、界面活性剤 (B)、および媒体 (C) を必須成分とする紙処理用組成物。

重合体 (A)：ポリフルオロアルキル基を有する (メタ) アクリレートの重合単位、ハロゲン化ビニリデンの重合単位および / または長鎖アルキル (メタ) アクリレートの重合単位、ならびに下式 1 で表される重合単位を必須とする重合体。

ただし、式 1 中の記号は以下の意味を示す。

R：水素原子またはメチル基。

Q：-O- または -NR<sup>5</sup>- (ただし、R<sup>5</sup> は、水素原子またはアルキル基。 )。

R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>：それぞれ独立に、水素原子またはアルキル基であり、また、R<sup>1</sup> および R<sup>2</sup> は共同して 2 価有機基を形成していてもよい。

R<sup>4</sup>：水素原子または水酸基。

n：1～4 の整数。

X<sup>-</sup>：対イオン。

【化 1】

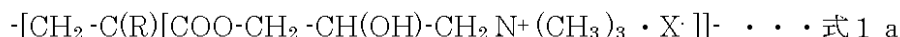


【請求項 2】

重合体 (A) における式 1 で表される重合単位が、下式 1 a で表される重合単位である請求項 1 に記載の紙処理用組成物。

ただし、式 1 a 中の記号は式 1 における意味と同じ意味を示す。

【化 2】



【請求項 3】

界面活性剤 (B) が、下記界面活性剤 (b<sup>1</sup>)、下記界面活性剤 (b<sup>2</sup>)、下記界面活

性剤 (  $b^3$  )、および下記界面活性剤 (  $b^4$  ) から選ばれる 1 種以上である請求項 1 または 2 に記載の紙処理用組成物。

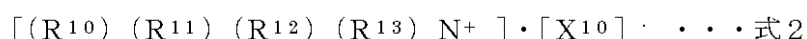
界面活性剤 (  $b^1$  ) : ポリオキシアルキレンモノアルキルエーテル、ポリオキシアルキレンモノアルケニルエーテル、またはポリオキシアルキレンモノ ( 置換アリール ) エーテルからなるノニオン性界面活性剤。

界面活性剤 (  $b^2$  ) : 分子中に 1 個以上の三重結合および 1 個以上の水酸基を有する化合物からなるノニオン性界面活性剤。

界面活性剤 (  $b^3$  ) : ポリオキシエチレン部分と、炭素数 3 以上のオキシアルキレン基が 2 個以上連続して連なった部分とが連結し、かつ両末端が水酸基である化合物からなるノニオン性界面活性剤。

界面活性剤 (  $b^4$  ) : 下式 2 で表される界面活性剤。

【化 3】



ただし、式 2 中の記号は以下の意味を示す。

$R^{10}$ 、 $R^{11}$ 、 $R^{12}$ 、 $R^{13}$  : それぞれ独立に、水素原子、炭素数 1 ~ 22 のアルキル基、炭素数 2 ~ 22 のアルケニル基、または末端が水酸基であるポリオキシアルキレン基。ただし、 $R^{10}$ 、 $R^{11}$ 、 $R^{12}$ 、および  $R^{13}$  の 4 者は同時に水素原子にはならない。

$[X^{10}]^-$  : 対イオン。

【請求項 4】

媒体 ( C ) が、水のみ、または水と水溶性有機溶剤からなる請求項 1、2 または 3 に記載の紙処理用組成物。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の紙処理用組成物により処理された加工紙。